

休職前の状況報告書の提出において御確認いただきたい点について

今後の支援を検討していくにあたり、休職の要因や休職に至る状況、背景を知る必要があります。
直接的な要因だけでなく、背景が分かるよう、具体的なエピソードの御記入をお願いします。

様式第1号（第6条関係）別表1

休職前の状況報告書（教職員課所管職員）

記入例

対象者	所属名	岡山県立内山下高等学校		
	職氏名	教諭 岡山 花子	性別	女
	生年月日	昭和40年11月5日（50歳）		
病気休暇期間（休職に引き続く）		平成27年9月16日から平成27年12月14日まで		
休職発令期間		平成27年12月15日から平成28年5月31日まで		
病名	うつ病	病院名 (主治医名)	倉敷メンタルクリニック (玉野 太郎)	
過去の病歴（関連する病気での病気休暇及び休職）				
平成 21年 4月 1日～平成 22年 3月 31日	病休・ 休職 （うつ病）	所属	県立丸の内高等学校	
平成 年 月 日～平成 年 月 日	病休・休職（ ）		（ ）	
平成 年 月 日～平成 年 月 日	病休・休職（ ）		（ ）	
学校について	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数 全体 450人 担当のクラス（担任を持っている場合） 30人 教職員数 全体 50人 学年団の教員 13人（学年団に所属している場合） 			
	<ul style="list-style-type: none"> 担任（相担任がいる場合はその方について） 平成26年度は1年団で担任、平成27年度からは3年団の担任 3年団は5クラスを13人で担当、1クラスに2名担任があり、相担任は20代の女性 担当教科 英語科 分掌 英語科主任と進路指導主事 部活動の顧問を持っていたか 茶道部の副顧問をしていたが、通常の部活動は顧問の教員が指導をしていたため、顧問が不在の時のみ指導を行っていた。 普段の退校時間は何時頃だったか 大体8時から9時ごろに帰宅していた。英語科の主任であり、業務量も多くなっていたが、担任しているクラスの保護者からの電話対応で業務に取り掛かるのが遅くなっていたようだ。 土日の勤務状況について 土日は茶道部の行事で年に数回出る程度だった。 			
※ 職場での状況	<p>業務について</p>			
発病前の勤務・生活の様子について	<p>平成26年度は学年団でも、英語科でもよくコミュニケーションがとれており、生徒や保護者からも信頼が厚く、順調に勤務していたが、27年度に入り、学年団が変わり、6月頃から次第に口数が少なくなり、朝遅刻したり、たびたび体調不良で休んだりするようになった。</p>			

職場での状況について、直接的な要因だけでなく、過去の勤務歴も含めた勤務上の背景についても分かるように記入してください。ポイントは病気で無かった時との差です。

・異動前後の学校の規模の差、周囲のサポートの差（相担任の状況や学年団の状況等）、業務量の差等

※職場での状況	職場の環境について	<p>・児童生徒の状況はどうだったか（落ち着いていたか） 学校全体としては授業やHRを妨害するような生徒は少なく、落ち着いているが、担任した第3学年はやや落ち着きにかけており、生徒に押され気味であった。</p> <p>・教員の年齢構成はどのようか 全体的に20代から30代前半の若手が多く、40代、50代が少なくなっている。</p> <p>・学校の地域性について 新興住宅団地に住んでいる生徒が多く、多様な考え方の生徒・保護者が多い。学級経営について等、学校への意見を度々してくる保護者も一部いる。</p>
※異動後2年目以内の場合は記入		<p>・前任校と規模や雰囲気の違いがあるか 前任校は小規模校であり、生徒・保護者の多くは地元出身で、学校への理解があった。また、進学者が少ないこともあり、現任校に比べて、進学指導の負担が少なかった。前任校は教員の年齢構成にあまりばらつきがなく、同年代の教員も数人いた。</p>
	人間関係について	<p>・周囲の教員とコミュニケーションがとれていたか 普段の会話や、業務での連絡調整などは問題なく行っていた。ただ、新採用2年目の相担任は明るく社交的な性格で、本来自分に一番相談してほしい内容も、誰かれかまわず話すので、あとから知ることもあり、快く思っていなかったようだ。</p> <p>・児童生徒や保護者との人間関係はどのようだったか 前年度までは、生徒、保護者とのトラブルは特になく、信頼されていたが、今年度になって特定の生徒とどの保護者との間のトラブルがあった。（トラブルの詳細はエピソード欄に記入）</p> <p>・同僚、管理職は本人の性格や教員としての資質をどのようにみていたか 大人しい性格であったが、周りの教員と協力して業務に取り組んでおり、協調性も十分にあった。また、英語科主任として中心的役割を果たしており、真面目で責任感を持って仕事をこなしていた。ただ、自分からは仕事の負担を頼んたいすることがなく、一人で抱え込むところがあった。</p>
※家庭での状況	家族の構成について	<p>・同居家族がいるか（いる場合はその家族構成） 夫と子供（大学2年生の長女、高校3年生の次女）と同居している。</p> <p>・同居家族がいない場合本人の支援をする家族はいるか ※いない場合 県内に実家があり、実の父親と母親が様子を見に行っている。</p> <p>・本人が介護をしている家族がいるか 介護者はいない。</p>
	私生活について	<p>・家庭での問題は無かったか 夫の帰宅が遅く、家事を一人でしていたため、いくらか疲れやすくなっていた。</p> <p>・プライベートで困っていることは無かったか 2年ほど前から更年期障害の症状（ホットフラッシュ、頭痛、動悸等）があり、休みは家で寝ていることも多かった。</p>
	所属長が発病原因と考えている出来事・エピソード（できるだけ具体的に）	<p>HRを妨害したり、授業を受けないなどの問題があったクラスの生徒への指導について、若い相担任よりも年長者である自分が一人でなんとかしようと焦っており、特定の生徒に対し厳しく指導していた。このことにつき、保護者から、「授業やHRに集中できないのは先生の指導に問題があるのでは」との電話があった。電話は1週間に2、3度あり、その都度本人が1時間程度電話対応をしていた。</p> <p>この問題を一人で抱え込んでいたことに加え、更年期障害による身体の不調や家庭での家事の疲れなどが重なり疲労が蓄積していったようである。</p>

前任校での様子についても記入してください。

異動後3年以上の方についても、前任校での様子が分かる場合は、記入してください。

私生活については、所属長が把握している範囲の内容で記入してください。

仕事以外で何か負担があったかどうか、がポイントです。

●休職の要因と考えられることは、具体的な状況が分かるように記入してください。

例) 「保護者から厳しいことを言われた」というエピソードの場合

→期間、頻度、内容、対応を一人でしていたか、保護者は難しい人だったか、本人にとって初めての経験だったのか等を含めて記載してください。

記入漏れがないよう御確認いただく必要はありますが、記入欄すべてが埋まっていることが重要なのではなく、記入のポイントの内容が満たされていることを確認してください。